

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	伊勢市立伊勢宮川中学校
取組の名称	食品ロスについて知り、給食の食品ロスを減らすためにできることを考える。
実施時期	6月
取組内容	<p>栄養教諭を講師に招き、食教育を実施しました。</p> <p><題材> 食品ロスについて知り、伊勢宮川中学校の食品ロスを減らすために自分たちにできることを考える</p> <p><参加者> 1年1組(24名)、1年2組(25名)、1年3組(25名)の生徒</p> <p><内容> 初めに、共同調理場でどのように給食が作られているのかを学びました。実際の調理場の写真などを見たり、何千人分もの給食を少ない人数で作っていることを知ったりすることで、給食を作ってくださっている方への感謝の心をもつことにつながりました。</p> <p>次に、6月が「食育月間」と「環境月間」にあたることから、どちらにも関連する「食品ロス」について学びました。食品ロスがどのような場面で出るのかを考え、食べ残しや買いすぎ、期限切れなど様々な場面で出ることを知ることができました。</p> <p>次に、伊勢宮川中学校の給食の残食量を知り、どうしたら減らすことができるのか、自分たちにできることを考え、意見を出し合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備をできるだけ早くして、食べる時間を長くとれるようにする。 ・嫌いなものでも、少しでも食べるようにする。 ・おかわりをしないか声掛けをたくさんする。 ・一人一人が意識し、誰かが食べてくれればいいという考えをもたないようにする。 <p>このような意見が各クラスで挙がり、一人一人が食品ロスを減らしていきたいという意識をもち、そのために何をすればよいか考えることができました。</p> <p>最後に栄養教諭から、小学校に比べ給食の時間が短くなっているので早く準備をし、食べる時間を確保すること、一人一人が一口を意識し、あと一口多く食べることで、食品ロスの削減につながるという助言をもらい、振り返りをしました。</p> <p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯を作る人のことを考えて食べようと思いました。 ・時間が無くなったり、おなかいっぱいだとあきらめていたけど、「もう一口」食べるようにしたいと思いました。 ・給食で、一人分だと少しだけど、全員分が毎日積み重なるとたくさんの食品ロスになってしまうことがわかりました。 ・明日から早く準備をして食品ロスを減らせるようにしたいと思いました。

